

奈良女子大家政○渡辺崇子 河野安美 磯田憲生 梁瀬度子
 奈良女子大人間文化 國嶋道子

目的：第3報に引続き、本報ではだんらん空間の雰囲気を因子得点によりグルーピングを行うことで、それらの特徴を把握するとともにそれぞれの雰囲気に影響を及ぼしている要因を明らかにする。

方法：第1～3報*と同様である。

結果：だんらん空間の雰囲気は、因子分析により「価値因子」「機能性因子」「近代性因子」「重厚感因子」「秩序性因子」の5因子が折出された。それぞれの因子ごとに因子得点により、因子のプラス側の特徴を表したグループ、どちらでもないグループ、マイナス側の特徴を表したグループの3つに分類できる。この3つのグループの雰囲気の違いを主婦のインテリアに対する考え方でみると、価値因子の場合は、主婦が、だんらん空間は雰囲気より機能性を重視し、来客を意識するより家族中心のしつらいを行っている場合のほうがより気持ち良さ、心地よさに満ちた空間になっているといえる。同様に近代性因子についてみると、家具は使い勝手よりデザインを重視し、室内装飾に工夫をこらし、だんらん空間は機能性よりも雰囲気を重視している場合のほうがより近代的な雰囲気になっている。次に因子得点とだんらん空間の起居様式との関係については「価値因子」の場合は、椅子・床折衷の評価が良く、「近代性因子」の場合は椅子座が良い評価となっている。さらに、これら諸要因の影響のしかたを数量化理論第Ⅱ類により明らかにした。

*渡辺崇子ら：だんらん空間の雰囲気に影響を及ぼす諸要因に関する調査研究
 第1報 日本家政学会第35回年次大会研究発表要旨集 p.197 1983.9
 第2, 3報 日本家政学会関西支部第4回研究発表会講演要旨集 1983.11